

**高砂市若者支援計画
(令和3年度)
施策評価シート**

【 4段階評価 】

- S: 予定以上に進捗している
- A: 予定通り進捗している
- B: 遅れている
- C: 事業を廃止

政策部シティプロモーション室移住・定住担当

令和3年度 若者支援計画に係る施策評価シート

S: 予定以上に進捗している
 A: 予定通り進捗している
 B: 遅れている
 C: 事業を廃止

【基本目標1】すべての若者の健やかな育成

施策の方向：相談支援体制の充実

※青の箇所にご記入ください

該当欄にS～Cのアルファベットを記入してください。

施策番号	主な施策	施策の内容	令和3年度の取り組み・方向性	令和3年度実績	回数・人数	3年度評価				令和4年度の取り組み予定・方向性	担当課
						S	A	B	C		
1-1-1	若者相談支援窓口の設置	若者相談専用ダイヤル（わかものサポートライン）を設置し、一元的に相談を受けて、面談や専門的な機関を紹介・案内するなど、適切な支援に繋げる相談体制を推進します。	生活支援窓口により、相談に対応する。	生活支援相談窓口において、自立相談支援等を行った。	自立相談支援154件 就労支援2件 住居確保給付金支給3件		A			生活支援相談窓口において、自立相談支援等を行う。	地域福祉課
1-1-2	若者相談支援情報の発信	若者や市民の方々に、相談者への支援情報を分かりやすく周知する取り組みとして、市内の学校や施設へパンフレットを配布し、また、広報や市ホームページ等で情報発信を行います。	市の広報媒体（市ホームページ、たかさごナビ、インスタグラム等）をとおして、情報発信を行う。	市の広報媒体（市ホームページ）をとおして、生活支援相談窓口の情報発信を行った。	—		A			市の広報媒体（市ホームページ）をとおして、情報発信を行う。	地域福祉課

施策の方向：就労支援体制の充実

1-2-1	就労支援の連携	障がいも含め、様々な問題を抱え思うように仕事に就けない、就職後に仕事に定着できないといった若者が見受けられます。こうした若者に対して、ハローワーク加古川、ひょうご・しごと情報広場、若者しごと倶楽部（ジョブカフェひょうご）等の様々な関係機関と連携し、個々の状況に応じた就労支援や、就労先が決まった後も職場に定着し働き続けられるよう継続的な支援の充実を図ります。	ハローワーク加古川、ひょうご・しごと情報広場、若者しごと倶楽部（ジョブカフェひょうご）等の様々な関係機関と連携し、個々の状況に応じた継続的な支援の充実に努める。	関係機関との連携の構築に努めた。	—		A			ハローワーク加古川、ひょうご・しごと情報広場、若者しごと倶楽部（ジョブカフェひょうご）等の様々な関係機関と連携し、個々の状況に応じた継続的な支援の充実に努める。	産業振興課
			令和3年度「地元企業合同就職面接＆相談会」を実施する。	ハローワーク加古川と連携し、「地元企業合同就職面接会」を開催し、「就活を成功させたい若年者のための相談会」を同時開催した。	開催回数1回 参加者49人 内定者11人		A			令和4年度「地元企業合同就職面接＆相談会」を実施する。	産業振興課
			平成29年度に兵庫労働局と締結した「高砂市雇用対策協定」に基づき、「地元企業合同就職面接＆相談会」を開催し、就職を希望する女性を支援する。	平成29年度に兵庫労働局と締結した「高砂市雇用対策協定」に基づき、「地元企業合同就職面接＆相談会」を開催した。	1回開催 参加企業21社 参加者49名		A			平成29年度に兵庫労働局と締結した「高砂市雇用対策協定」に基づき、「地元企業合同就職面接＆相談会」を開催し、就職を希望する女性を支援する。	人権推進課 （男女共同参画センター）
1-2-2	地域若者サポートステーション（あかし若者サポートステーション／サテライト播磨 [加古川]）との連携	地域若者サポートステーションと連携し、働くことについて様々な悩みを抱えている若者未就労者を対象に、社会参加・就労へと導くため、キャリアカウンセリングを中心とした就労プログラム（セミナー、職場体験等）により、個々の置かれた状況に応じて、個別的、継続的に支援を行います。	あかし若者サポートステーション／サテライト播磨及びひめじ若者サポートステーションと連携し、個々の置かれた状況に応じた個別相談やセミナー等を開催し、個別的、継続的な支援に努める。	あかし若者サポートステーション／サテライト播磨 [加古川] 地域若者サポートステーションとの連携の構築に努め、個別相談やセミナー等を開催した。	相談件数0件 出張相談14回 参加者数31人 セミナー実施数17回 参加者数157人		A			あかし若者サポートステーション／サテライト播磨と連携し、個々の置かれた状況に応じた個別相談やセミナー等を開催し、個別的、継続的な支援に努める。	産業振興課
1-2-3	播磨圏域連携中枢都市圏の連携	播磨圏域連携中枢都市圏の関係市町と連携して、若年求職者や女性等の就労につながる各種就労支援に取り組みます。（ジョブトライアル事業、合同就職説明会等の共同開催、若年層等への就労支援、職業訓練講座）	播磨圏域連携中枢都市圏の関係市町と連携し、情報の周知・普及を行う。	播磨圏域連携中枢都市圏の関係市町と連携し、情報の周知・普及を行った。	—		A			播磨圏域連携中枢都市圏の関係市町と連携し、情報の周知・普及を行う。	産業振興課

令和3年度 若者支援計画に係る施策評価シート

S: 予定以上に進捗している

A: 予定通り進捗している

B: 遅れている

C: 事業を廃止

【基本目標2】 困難を有する若者やその家族の支援

施策の方向: 支援のための連携

施策番号	主な施策	施策の内容	令和3年度の取り組み・方向性	令和3年度実績	回数・人数	3年度評価				令和4年度の取り組み予定・方向性	担当課
						S	A	B	C		
2-1-1	若者支援地域ネットワークの構築	様々な分野の機関と連動する「高砂市若者支援地域ネットワーク」を構築し、社会生活を円滑に営む上で困難を有する若者やその家族への総合的な支援の充実を図ります。	要保護児童対策地域協議会、青少年健全育成連絡協議会、青少年補導委員協議会、青少年センター運営協議会、民生委員児童委員協議会、子ども会育成会連絡協議会、連合PTA協議会等の関係機関との連携強化に努める。	各協議会を開催し、必要に応じて各関係機関内及び相互間で情報共有を図った。	—		A			要保護児童対策地域協議会、青少年健全育成連絡協議会、青少年補導委員協議会、青少年センター運営協議会、民生委員児童委員協議会、子ども会育成会連絡協議会、連合PTA協議会等の関係機関との連携強化に努める。	子育て支援課 地域福祉課 生涯学習課 学校教育課（青少年センター）
2-1-2	ひきこもりの支援	兵庫ひきこもり相談支援センター播磨ランチ等と連携し、ひきこもり当事者や家族との面談、訪問支援を行うとともに、回復過程にあるひきこもり当事者に対する社会参加訓練等を支援します。また、当事者のグループ活動を支援し、復学や就労等の社会参加を促します。	兵庫ひきこもり相談支援センター播磨ランチ等と連携し、ひきこもり当事者や家族への支援に努める。	兵庫ひきこもり相談支援センター播磨ランチ等と連携し、ひきこもり当事者や家族への支援に努めた。	相談件数18件		A			兵庫ひきこもり相談支援センター播磨ランチ等と連携し、ひきこもり当事者や家族への支援に努める。	地域福祉課

令和3年度 若者支援計画に係る施策評価シート

S: 予定以上に進捗している
 A: 予定通り進捗している
 B: 遅れている
 C: 事業を廃止

【基本目標3】若者の成長のための社会環境の整備
 施策の方向：若者の育成や地域活動の推進

施策番号	主な施策	施策の内容	令和3年度の取り組み・方向性	令和3年度実績	回数・人数	3年度評価				令和4年度の取り組み予定・方向性	担当課
						S	A	B	C		
3-1-1	若者の地域活動グループの設立や活動の支援（未来戦略推進活動支援補助金）	若者が主体となり地域活動を行うグループづくりと活動を支援し、若者が地域社会と関わり社会性や豊かな人間性を育むことに繋がります。	当該項目の施策である未来戦略推進活動支援補助金事業は、令和3年度から「夢の代」補助金事業との統合し推進する。 「夢の代」補助金事業の令和4年度事業の募集は、さまざまな形（ポスター掲示、市HP、フェイスブック等）で周知を行い、8事業以上の応募件数を目指す。	・令和3年度から未来戦略推進活動支援補助金事業と「夢の代」補助金事業を統合した。 ・令和3年度事業については、全11団体（地域活性化事業 2団体、活動団体支援事業 6団体、団体設立支援事業 3団体）に補助金を交付し、若者を含む団体等の活動を支援した。 ・令和4年度事業については、全12団体（地域活性化事業 7団体、活動団体支援事業 4団体、団体設立支援事業 1団体）から企画提案の応募を受け付けた。	左記参照		A			「夢の代」補助金を幅広い世代の方々に活用してもらうため、さまざまな形（ポスター掲示、市HP、フェイスブック等）で制度の周知し、17団体以上の応募件数を目指す。	地域振興課
3-1-2	成人式の企画・運営	新成人に成人式の企画・運営に関わってもらい、大人への第一歩を踏み出す機会をつくります。	新成人による成人式運営委員会を組織し、成人式について検討協議してもらい、内容の検討及び当日の運営に参画してもらう。	新成人による成人式運営委員会を組織し、成人式について検討協議した。	新成人成人式運営委員6人 運営委員会開催3回		A			新成人による成人式運営委員会を組織し、成人式について検討協議してもらい、内容の検討及び当日の運営に参画してもらう。	シティプロモーション室
3-1-3	大学等連携協定による学生の地域活動への参加	市と大学等が連携し、学生が地域活動に参加することで活力ある個性豊かな地域社会の創生・発展と学生の社会への参画意識を育みます。	連携大学等4校と連携事業について協議し、実施担当課の取組を支援する。	連携大学等4校と連携事業について協議し、実施担当課の取組を支援した。	33件		A			連携大学等4校と連携事業について協議し、実施担当課の取組を支援する。	シティプロモーション室
3-1-4	若者の市政への参画の促進	若者が主体的にまちづくり（市政）に参画できる取り組みを進めます。	幅広い世代に「夢の代」補助金を活用してもらう。令和4年度事業の募集は、さまざまな形（ポスター掲示、市HP、フェイスブック等）で周知を行い、8事業以上の応募件数を目指す。 アダプトプログラム及び市民ボランティアは、引き続き制度のPRに努め、参加団体や登録者の増加を図る。	【「夢の代」補助金】 ・令和3年度事業については、全11団体（地域活性化事業 2団体、活動団体支援事業 6団体、団体設立支援事業 3団体）に補助金を交付し、若者を含む団体等の活動を支援した。 ・令和4年度事業については、全12団体（地域活性化事業 7団体、活動団体支援事業 4団体、団体設立支援事業 1団体）から企画提案の応募を受け付けた。 【アダプトプログラム及び市民ボランティア】 ・アダプトプログラムについては、9団体に活動していただいた。 ・市民ボランティアについては、新型コロナウイルス感染症の影響により、ボランティア受入れ事業が1件のみとなった。（ボランティア受け入れ情報を登録者に発信をしたが参加はなかった。）	左記参照		A			・「夢の代」補助金を幅広い世代の方々に活用してもらうため、さまざまな形（ポスター掲示、市HP、フェイスブック等）で制度の周知し、17団体以上の応募件数を目指す。 ・アダプトプログラム及び市民ボランティアについては、引き続き制度のPRに努め、参加団体や登録者の増加を図る。	地域振興課
			市役所の業務において大学生及び高校生をインターンシップで受け入れる。	高校1校から学生を受け入れインターンシップを実施した。大学生は、オンラインによるインターンシップを実施した。	高校生2名 大学生10名		A			市役所の業務において大学生及び高校生をインターンシップで受け入れる。	人事課

令和3年度 若者支援計画に係る施策評価シート

S: 予定以上に進捗している

A: 予定通り進捗している

B: 遅れている

C: 事業を廃止

			令和3年度に執行される選挙において公募による期日前投票所の投票立会人を選任する。その際に30歳以下の選挙人を中心に選任し、若い世代の投票意識の向上を図る。	令和3年執行の兵庫県知事選挙及び衆議院議員総選挙において、公募により主に30歳以下を対象として選任された選挙人が期日前投票所の投票立会人として従事した。	9名		A		令和4年度に執行される選挙において公募による期日前投票所の投票立会人を選任する。その際に30歳以下の選挙人を中心に選任し、若い世代の投票意識の向上を図る。	選挙管理委員会
3-1-5	若者の結婚新生活への支援	新婚世帯が高砂市で暮らしやすくするため、家賃などを補助し、新生活を支援します。	市内企業向け案内やSNSでの周知に努め、当初計画通りの申請数があった。また、前年度比170%増の申請数となった。	令和2年度で制度が終了。	-			C	-	シティプロモーション室
3-1-6	青年の家の運営	社会教育団体等と協力してイベントを実施し、地域住民と青少年と交流を図るとともに、多目的球場など周辺施設もあわせて、より活用できるよう検討します。	自主イベントを継続的に実施するとともに、新型コロナウイルス感染症対策も充実させる。	新型コロナウイルス感染症の拡大予防をしながら、できる範囲で開催した。	114回		A		青年の家閉館につき、令和3年度末で事業を廃止。	生涯学習課